

令和3年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

担当課係	生涯学習課スポーツ振興室
------	--------------

事務事業名	小松島ハーフマラソン（仮称）大会開催事業		事業予算費目		
総合計画上の位置付け	政策	② ひとりひとりが輝けるまちづくり	款	10	教育費
	基本目標	6. 心豊かなひとづくり	項	7	保健体育費
	施策	6-1 教育の充実と文化の振興	目	2	体育振興費
	基本方針	6-1-3 生涯学習・スポーツの推進	事業	3	スポーツ行事開催事業

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	市制施行70周年記念事業として、スポーツに親しみながら健康増進、体力・技術の向上、地域・世代を超えた交流促進によるにぎわいを創出することを目的にハーフマラソンを開催する	事業の内容	ハーフマラソンの開催に向け必要となる事前準備、関係者協議等を漏れなく実施し、ランナー等が安全に安心して参加できる大会を開催する。
-------	--	-------	--

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名		単位	実績		目標	
	大会参加者数			R2	R3	R4	R5
	指標の説明		人	目標	1,300	1,300	開催未定
	競技参加者数			実績	1,088		
		R2年度決算		R3年度決算		R4年度予算	
関連事業費	事業費		0	6,992,452	8,000,000		市民一人あたりのコスト
	財源内訳	国県支出金	0	1,240,000	0		R2 0
		地方債	0	0	0		R3 191
		利用者負担・その他	0	0	0		各年度4月1日現在の人口
		一般財源	0	5,752,452	8,000,000		R2 37,243
					R3 36,670		

■評価（CHECK）

事業の方向性	○	拡 充	縮小して継続	判定理由	今後継続して開催するかは未定であるが、継続する場合は市補助金に頼らない持続可能な運営形態が必要となってくる。そのためには効率的な運営はもちろん新たな財源確保など課題は多い。
		改善・効率化し継続	休止・廃止		
		現状のまま継続	完了		

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	事前準備や当日運営に非常に多くの人員が必要となり、人員確保は課題である。また経費面や地域の負担軽減など、事業継続には持続可能な体制構築が必須となる。
今後の方向性	事業を継続するかどうかは未定であるが、事業効果の増進に努める。